

# 神学校献金の取り組みについて

あおき せつこ  
青木 節子 (上尾キリスト教会)



私たち上尾教会では、神学校の後援会会長として秋山信夫牧師を送り出しています。先生を通して神学校の様々な公開講座を紹介していただき、学び始める方が多く起こされています。学びをきっかけに後援会に入会します。神学校献金は、6月の神学校週間だけではなく、年間を通して各自が献げています。献金額は、財政事情の厳しい東京バプテスト神学校に2/3、全国壮年会連合

に1/3送っています。いつでも、だれでも、どこでも学べる神学校の公開講座は、牧師志願者だけではなく、一般信徒にも開かれています。私も4年前から興味がある公開講座に聴講生として参加しています。難しい点もありますが、多彩な講師の先生たちによる、様々な角度からの聖書のとらえ方は、一段と広く豊かな聖書の世界へと導いてくれています。学んだことを礼

拝で証したり、教会の広報誌に載せたりしています。教会では学ぶ方に教会財政より補助を出し、教会全体で学びを支えています。

今後、短期間の3ヶ月コースなど開設されたら、もっと気軽に学びに参加できる方が起こされるのではないのでしょうか。一人でも多くの方が神学校の学びに参加してくださることを期待し、お祈り致します。

## 2023年度 後援会献金(個人)実績

● 後援会献金(個人) …… 117名・141件 合計 1,415,878円 (前年度1,276,680円)

芦沼光雄 安原信彦(2) 伊藤世里江 伊藤典子 井伊肇 井上昭子 井上政博 井東元 井東秀美 吉崎基子 宇津木彰 永井愛美 奥谷恭子 奥田光子 奥田稔 岡村直子 岡田魁人 岡田富美子 岡田利男 角田秀明 角田芳子 梶原博文 鬼澤寛(2) 菊地正弘(2) 吉原正子 久保田のぶひと 宮下めぐみ 金香泰誠 熊谷真吾 古根村聖子 広井久仁子 高良研一 高柳美枝子 鴻野清美 今給黎真弓(2) 佐々公子(2) 砂川真(2) 坂元幸子 坂本献 鮫島泰子 三木睦美 山形昌美(2) 山口慎子 山崎清美 山川許子 山田洋子 山内敏明 山崎美奈 四津明美 持山優子 若林一枝 酒井和恵 秋山純子 秋山信夫(2) 十時節子(2) 勝俣昌也(3) 小勝琢生 小松澤一枝 小柳隆司(3) 松村誠一 松田朝子 松田美智代(2) 上原克也 城田裕子 常廣澄子 森山ひろみ 森信子 神山武水 水尾謙作 菅井善一 瀬戸口早苗 生明伊世子 西方泉 青木節子 石垣茂夫 石水美佐子 川勝高宏(3) 浅野陽子 村上真由美 村上千代 大下仁 大原広志 大矢公子 竹内正幸 中島世来 中澤なつみ 丁野雅子 鳥飼好男 直津晴子 鶴ヶ谷芳昭(3) 鶴野博子 天野寛 田口ひろこ 渡部富夫 都丸利子 東方敬信 藤原俊子 富田直美 富田信恵 武宮陽子 武章子 福田美紀 福本綾子(4) 文廷翼(2) 平井純子 平野さとみ 保木はるみ 豊永義典 吉田壽宏 北野弘子(2) 木原道雄(2) 木村一充 木村まどか 林健一 林玲子 鈴木恵子 匿名

● 後援会オンライン月々支援実績 …… 38名

小牧由香 村上千代 林 雄植 奥田 稔 蛭川潤子 美園和彦 城倉 啓 秋山信夫 山本恵子 藤井秀一 小川紀良 岡村直子 白井愛子 中根 淨 松田俊介 高地輝夫 篠松次郎 山岸 明 加山彰一 加山礼子 上原一晃 鈴木早苗 諏訪泰子 石井規之 田中宣之 渡辺朋美 川勝高宏 上田みずほ 松田健太郎 村松理恵子 足立智幸 舛田栄一 小林亜矢子 桜井ともみ 新井朋美 岡田利男 作田公重

● 2023年度 教会・集会献金実績 …… 合計 3,625,308円 (前年度3,448,827円)

※詳細は神学校ニュース5月号に掲載しています。

東京バプテスト神学校の働きを支援するために、あなたも「後援会」にご入会ください

- 1. 定期支援 個人会員：年額1口 ¥5,000 何口でも歓迎いたします
- 2. 自由献金支援 支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 **00210-8-75658** 東京バプテスト神学校後援会

※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。



# 東京バプテスト神学校 後援会 NEWS

No.37

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ [seminary@tbts.jp](mailto:seminary@tbts.jp)

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141  
発行日：2024年7月25日 発行者：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

## 巻頭言

### 「人を育てる教会と神学校」

日本バプテスト連盟北関東地方連合会長 **坂本 献** (所沢キリスト教会牧師)



「東京バプテスト神学校」(以下「神学校」)の設置者に連なる「北関東地方連合」(以下「きたかん」)の会長として、「神学校」のお働き、後援会のお働きを感謝申し上げます。何より、「きたかん」21教会・伝道所(以下「教会」と表現)の中、昨年度9名程の牧師や協力牧師等(以下「牧師等」)が「神学校」卒業生として活躍されていることを嬉しく感じ、この「神学校」がなかったらすでに人材不足に陥っていたことです。

「神学校」の目的は牧師・伝道者の養成がその一つですが、学生数が少ないこと(どこの神学校においても)、今後、牧師等が不足することは誰の目にも明らかです。

牧師等を目指す学びをする前に、「教会」での奉仕や学び、祈りが必要なことは当然ですが、現状は「大変だ、人数が減少している、奉仕者が足りない、必要な献金が満たされない」とどの「教会」も言います。その状況は良く理解できません。簡単な解決策がないことは私自身よく知っております。

そこで自らと皆さまに改めて問うことは、「教会の人を育てる働き」です。牧師等が主に対する畏怖と教会への信頼をもって教会に喜び仕える姿、信徒一人ひとりが祈り、学び、奉仕し、協力して主に喜び仕え、教会の出来事が共有され、伝道(常に広義)していくことが「人を育てる教会」です。

教会が一部の人に働きを任せるとは(結果的にそうだったり)、伝道や教育への熱意や知恵を出し合わなければそのことは成し得ません。ここでも反論がありましょう。信徒も一人ひとりの生活や仕事で大変である、と。その反論をも重ねつつ、でも、その中でこそ一歩踏み出す招きがあり、祈り続ける中で、主が導いてくださることを期待するのです。

教会はまずは「聖書」を読むことです。その「聖書」を学ぶために「神学校」では一般向けの講座が開講されています。日々信仰に生かされている恵みを知る者は、その信仰の基盤である「聖書」を年に一コマでも学んでみてはいかがでしょうか。

でしょうか。

また「礼拝」も大事な「学びの場」です。「神学校」は「教会音楽科」を持っています。「教会音楽」とはほとんど「賛美歌等」教会で用いられる音楽のことであり、同時に礼拝や信仰と深く関わっております。「賛美歌」は音楽と「言葉」を通して信仰を育てるものですし、たとえ、奏楽はできなくとも、賛美歌は教会の働きであり、実技や、実技を伴わない学びも「神学校」で用意されています。

すべての信徒の方々への学びの門が開かれている「神学校」を覚え、「神学校」で学ぶ方が起こされること(「教会共同受講」もあり)、その体制を教会が準備する中で、「牧師等」が生まれるのです。

「きたかん」は一般会計の約3割(90万円)を設置者の思いをもって献金しています。教会あたり4.3万円は大きな金額です。また後援会や各教会の献金を感謝いたします。それら献げものの結実のために開かれている「学びの門」にあなたも招かれております。

**500円からご支援できます!** 後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。

スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

▲ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)



# 「教会を形成していくひとりとなるように」

岸本 敬子 (品川バプテスト教会)



私は東京バプテスト神学校教会音楽科本科とマスターコース(現在の専攻科)で6年半学び、2001年3月に卒業して、その年の4月から品川バプテスト教会で音楽主事として立たされています。平日は毎日フルタイムで会社勤めをしていますので、限られた時間のなかでできることをやっていますが、十分な働きはできず、いつも自信がなく、こんな働きでよいのだろうか、と悩むことが多いです。音楽主事として私が大切にしている働きのひとつは、毎週の主日礼拝の整えと準備です。教会音楽の働きは教会の働きでもあり、音楽は礼拝プログラムに大切な役割を担っていますので、会衆の皆さんが神様に心からの礼拝をささげることができるようにと、常に祈りつつ、礼拝に招かれていることに感謝して準備をしています。

2024年4月から品川教会は無牧師となりました。教会組織始まって以来、初めての経験をしています。招聘委員会を昨年度から立ち上げていますが、しばらくは無牧師の状態となることは、教会員皆がわかっていて、覚悟して4月からの新年度を迎えました。宗教法人の手続き上では、今まで牧師が代表役員でしたが、牧師がいない今、私が代表役員代務者となることが3月の総会で決議され、あくまで手続き上のことと言われているので、お引き受けしました。ところが新年度がスタートしてみると、毎日いろいろなことが起こってきて、新年度に向けて準備していたはずでしたが、それでも新しい問題などが次から次へと起こり、いろいろな人と話し合っひとつひとつ解決していかなければなりません。そして無牧師の今、毎週の礼拝を行うために、本当に多くの準備と整えが必要だということを思い知らされています。説教者の依頼と連絡、礼拝プロ

ラムの作成、週報の作成、各奉仕者への連絡と確認などなど…。会社で仕事をしている時以外は、常に教会のこと、特に礼拝のことを考えている状態で、出社前、帰宅後もパソコンに向かう時間が長くなりました。連絡漏れがないか、やり忘れていることはないかと気になり、常に緊張していて、明け方早く目が覚めます…。毎日多くの時間を取られて大変ですが、でも、代務者として仕方なしにやっているのではなく、神様のために、教会のために仕えているという喜びがあります。もちろん私だけが大変なのではありません。平日、何度も教会の様子を見に行ったり、主日礼拝のための様々な準備や各方面への連絡なども手分けして行い、たくさんの人がそれぞれの場面で多くの奉仕を担っています。お互いがよく声を掛け合っています。「ありがとう」「これは私がやっておくね」「大丈夫?」「祈っているからね」など、みなで協力して、励まし合い、祈り合いながらひとつひとつのことを行っている雰囲気がとてもよいです。

5月19日のペンテコステ礼拝の中で、内藤淳一郎先生と松村誠一先生に「按手の祈り」をいたしました。教会がお二人の先生に委託することを話し合っ決めて、そのことを教会員一同がひとつとなって祈ることができました。主が品

川教会の群れの中にお立ちくださり、祝福して下さった瞬間でした。とても感動しました。また、毎週の礼拝での説教を外部の先生方ばかりに頼るのではなく、できるだけ信徒で担っていくことを決めて、内藤先生による「信徒説教の学び」が始まりました。説教を担当しない人たちも、人任せにはしないで、教会員全員で説教をする人を支えていきましょうと、皆で学んでいます。(写真は先日行われた第一回目の学び会の時のものです)

3月までは不安と心配が私の心を大きく占めていましたが、大変な中にもたくさんの恵みを与えられていると感じて、神様に感謝している日々です。「無牧師」の今は、教会にとって、一度立ち止まって、私たちの教会は何を大切にしているのか、何を神様から託されているのか、新しくお招きする先生と何を一緒にしようとしているのか…と考える時であり、教会員一人ひとりが「教会を形成していくひとり」となるチャンスの時、教会が成長する大切な時だと心から思っています。

「主に望みをおく人は新たな力を得  
驚のように翼を張って上る。  
走っても弱ることはなく  
歩いても疲れない。」

イザヤ書40:31



信徒説教の学び会

# 共に学ぶ喜びと祈りに招かれて

蛭川 潤子 (郡山コスモス通りキリスト教会)



「神を中心に仲間と学ぶことには喜びがある」2022年5月号の神学校ニュースにあったこの言葉に背中を押されて、公開講座で学ぶことを決めました。

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束せずに対面での集会などが制限される中、「共に学ぶ喜びを味わいたい」その願いが強く起こされました。そして家に居ながらにして神学校で共に学べるということには大きな魅力を感じ、10月から5ヶ月間の詩編の学びをスタートいたしました。

講師との応答、投げかけられる問い、毎週月曜日2時間の授業では新鮮な学びがあり、そして理解が追いつかないことも出てくる中でも、神さまの愛の広さ、長さ、高さ、深さへの感動がありました。その後も様々な公開講座の案内があり、聖書の学びだけではなく、教会や自分自身の持つ課題などにも直面させられる、そのような講座も受講してみました。決めつけず、多様な意見に耳を傾け、考え続ける中で多くの気づきを与えられています。また神学生たちと共に学ばせていただくことは、担い合う福音宣教のさまざまな祈りにも導かれていくことです。東京バプテスト神学校が公開講座を開き、広く学びの機会を与えてくださることに感謝いたします。

川勝 高宏 (相模中央キリスト教会)



主を賛美致します。私はこの2024年3月まで12年間に亘り東京バプテスト神学校に広い意味で内部から関わらせていただいた者でありましたことに心からの感謝を表明させていただきます。

私はこの神学校の後援会が何時設立されたのかはよく存じませんが、とにかくこの神学校を愛し、その運営のために地味にしかし絶えず、祈り、行動を続けてこられた多くの諸先輩がおられます。そのおかげで今日の後援会があることを見させていただきましたし、今や神学校運営にとって欠くことのできない経営資源(ヒト・

モノ・カネ・情報・時間・知的財産)を構成する要素のひとつとなっていることを思われます。これからは、この後援会ニュースを手にする私たち一人ひとりが、後援会組織の裾野を更に広げていく働きに少しでも関わっていくことが、主が諸先輩の後に続く私たちに期待される働きであると考えます。

後援会組織も進化しております。会員に加わることで、神学校の講座を特別割引にて受講できる制度ができましたので、この講座を学びたい、もう一度あの講座を学びなおしてみようという意欲を促される方も多くおられるでしょう。また後援会月々支援(一口500円/月)という制度も整備されとても便利になり、私もこの制度を利用させていただいております。

是非皆さんでこの後援会を更に成長させましょう。

井馬 佐紀子 (仙川キリスト教会)



主の御名を賛美いたします! 皆さまのお祈りのお支えによって、3月に神学校を卒業することが出来ましたこと心から感謝致します。この4月から母教会で副牧師としてお仕えることとなり、教会生活に変化がある中で様々なことを考えさせられています。難しい課題を与えられる度、御言葉が与えられると同時に、先生方や学生の方々の、出会いが与えられた教会の方々の言葉とお顔が思い返されます。それが灯火のようにキラキラと輝いて、つい「私にはできません」と弱音を吐きそうになる度に助けられています。

振り返れば力不足で不甲斐ないことばかりの神学生としての歩みでありましたが、それでもすべてが成長に繋がりと、自分の中で無駄に終わることはありませんでした。同じように、数ある教会の中で誰かが「何が出来るかわからないけれど学んでみよう」という思いが与えられて神学校に進めることは大きな意味を持ち、その方にとっても無駄に終わることがないと確信しています。一人でも多くの働き人が起こされ、主の愛が伝えられていきますように。また後援会などを通してそのために祈りを合わせる方が増し加えられますように。そして今神学校で学んでおられるお一人ひとりの賜物が輝かれ、いつも助けが与えられますように、共に祈り致します。